

Next ヒライ信

いっほにほへどち
りぬるをわか
たれそつねだ
むつみのおく
けふこえてあ
きゆめみし
もせきん
幸
VOL.3
2020年10月
令和2年10月
第254号



がくしゅう 楽習塾 塾長 平井 幸雄 たかお

hiraisin@par.odn.ne.jp

コロナイロハカルタ③

前回に続いて、コロナ禍の新しい生活様式に沿ったコロナ教訓イロハカルタの第3弾です。最終回のその③「え」～「京」の15首をご笑覧下さい。



縁の下の力持ち
コロナ感染重症化したら、ECMOの力に期待したい。



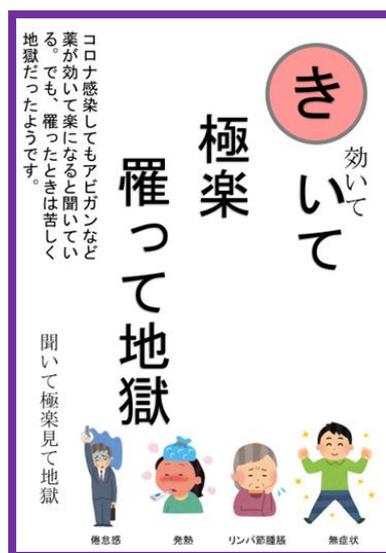
亭主元気で留守が良い
ステイホームで亭主はウイルスに感染する恐れがない。元気で何よりだが、ずっと家にいるのは、妻には鬱陶しい。



頭隠して尻隠さず
医療従事者は大変だ。頭から足の先まで隠した完全防護服で対応してくれている。どんな手口でも早く鎮静化の目鼻がつくとよい。



三遍回って煙草にしよ
三密守って安心です。安心してタバコにしよ。はいけません。煙草による肺がんのリスクがあります。



聞いて極楽見て地獄
コロナ感染してもアビガンなど薬が効いて楽になると聞いている。でも、罹ったときは苦しく地獄だったようです。



油断大敵
コロナは単なる風邪のようなものと油断してはいけない。かなり強烈な感染症だ。



目の上の瘤

コロナ感染ルートの追及は難しい。目上目下、老若、男女、年齢関係なく、世の中平等にかかるといえる。



身から出た錆

コロナ発生源はどこだろう？中国武漢発というが。自分の身から出たものを他人にうつさないようしよう。



知らぬが仏

感染経路が不明という感染者が多い。どこで罹ったか知らないと放つとけないコロナ感染症。



縁は異なるもの味なもの

味を感じなくなったら、コロナに感染したと感じた方が良い。縁はどこにでも転がっている。



瓢箪から駒が出る

ひょんなどころから困ったコロナに感染する。いつどこで誰からうつされるかわからない。



もも栗三年柿八年

コロナ感染症は意外と沈静化しない。沈静化までに長期戦だ。長期戦に備えた対策を。



背に腹は代えられぬ

外から帰ったら、手洗だけでなく、背から腹から、頭から足まで全身を洗う用心が必要。



雀百まで踊り忘れず

コロナ沈静化後の景気が飛躍的に回復できるように。一方、この災厄を百年後も忘れずに



京の夢大阪の夢

コロナ感染拡大の非常事態宣言の悪夢を忘れ、解除後の新しい生活様式に夢を持ちたい。

智慧をつけ増えては減りぬコロナウイルス治まれと願いがい望そむわ新しき世夢見せ日本飛躍もちろみつけふえてはべりぬころなういるすおさまれとねかいのそむわあたらしきよゆめみせにほんひやくも

いろは48文字を1文字ずつ使ってコロナウイルス沈静歌